

1. 国際ワークショップ 1. 「文化の越境と翻訳 Trans-Frontier Culture and Translation」

2011年1月15日・16日

会場：名古屋大学ヨーロッパセンター（ドイツ・フライブルク）



「翻訳」の研究というと、どうしても言語間の翻訳、あるいは文学作品の翻訳の問題が中心になってしまいます。しかし、翻訳に関する研究対象は、言語や文学作品だけにとどまらず、文化全体を視野に入れてとらえていくことができるでしょう。また、対象の広がりとともに、その研究方法についても模索していく必要があります。

このワークショップでは、ドイツ・フランス・日本の研究者がヨーロッパに集い、「文化の越境と翻訳」の問題を実体験しながら、翻訳研究の可能性について考えました。

【1月15日(土)】 日本文化研究の最前線 New Frontiers in the Study of Modern Japanese Culture

Gerald Peloux (パリ第7大学)

「『女』がなぜ『塔』に化身したのか——A.M.ウィリアムソン作『A Woman In Grey』の江戸川乱歩の翻案について——」

“Why Did a “Woman” Become a “Tower”?: Edogawa Ranpo's Adaptation of A.M. Williamson's “A Woman In Grey”

杉淵洋一 SUGIBUCHI Yoichi (名古屋大学)

「有島武郎は如何にして西洋を翻訳したか——『或る女』にみる文化翻訳の臨界と創発性——」

“How Arishima Takeo Translated the West: Limits and Originality of His cultural Translation in *Aru-onna*”

Isabelle Lavelle (パリ第7大学)

「『人間失格』——題名と翻訳の問題」

“No Longer Human, or the Best Way to Translate a Title”

Elena Giannoulis (ベルリン自由大学)

「日本文学と日本文化における“クール性”」

“The Concept of “coolness” in Japan”

加藤早苗 KATO Sanae (名古屋大学)

「聖書翻訳における言語の越境——聖書用語の受容から——」

“Linguistic Border-Crossing in Translations of the Bible: An Analysis Based on the Reception of Biblical Terms”

高峽 GAO Xia (名古屋大学)

「越境の人力車／人力車の越境」

“The Cross-border Rickshaw / The Border-crossing of the Rickshaw”

Till Weingaertner (ベルリン自由大学)

「現代漫才の進化」

“Trends in Contemporary Manzai Comedy”

ラウンド・テーブル

【1月16日(日)】文化の越境と翻訳

Trans-Frontier Culture and Translation

Irmela Hijjya-Kirschner (ベルリン自由大学)

「美とアイデンティティ：グローバル化時代の文化的自己主張」

“Beauty and Identity: Cultural Self-Assertion in the Age of Globalization”

齋藤文俊 SAITO Fumitoshi (名古屋大学)

「漢文訓読と翻訳」

“*Kanbun-Kundoku* (Japanese Readings of Chinese Texts) and Translation”

坪井秀人 Tsuboi Hideto (名古屋大学)

「歌うジャポニスム——20世紀初頭の日本詩歌の翻訳と歌曲化」

“Singing Japonisme: Translations and Musicalizations of Japanese Poetry in the Early 20th Century”

Cécile Sakai (パリ第7大学)

「日本現代文学と翻訳の視野」

“Japanese Contemporary Literature and the Perspectives of Translation”

日比嘉高 Hibi Yoshitaka (名古屋大学)

「翻訳者の無力な使命——シリン・ネザマフィ論——」

“The Ineffectual Task of the Translator: On Shirin Nezamafi’s Japanese-language novels”

ラウンド・テーブル

2. 「文化の越境、メディアの越境——翻訳とトランスメディア」セミナーシリーズ (日本近現代文化研究センター講演会)

2011年11月5日・29日

会場：名古屋大学文学研究科大会議室



【第1回 11月5日(土)】

◎テーマ

上海租界劇場文化の歴史と表象

——ライシャム・シアター(蘭心大戲院)の1930~40年代——

講演者：大橋毅彦(関西学院大学文学部)

司会：日比嘉高(名古屋大学)

【第2回 11月29日(火)】

◎テーマ

東アジアの近代と日本語

講演者：沈国威(関西大学外国語学部)

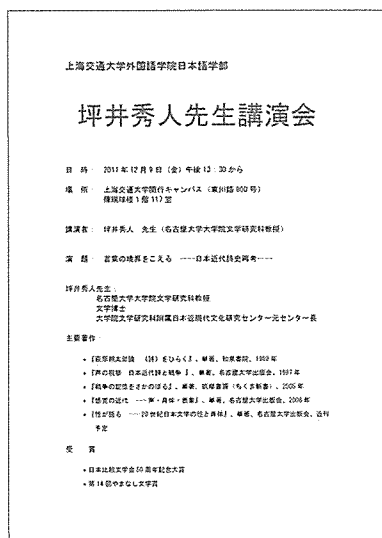
司会：藤木秀朗(名古屋大学)

3. 上海交通大学外国語学院日本語学部講演会

2011年12月9日

会場：上海交通大学闵行キャンパス

主催：上海交通大学外国語学院



【12月9日(金)】

◎演題

言葉の境界をこえる——日本近代詩史再考——

講演者：坪井秀人(名古屋大学)

4. 国際シンポジウム I. 「文化の越境、メディアの越境——翻訳とトランスメディア」

文化的越境，媒体的越境——翻译与跨媒体

Traversing Cultural and Media Boundaries: Translation and Transmedia

2011年12月10日・11日

会場：上海マート4A会議室

共催：名古屋大学大学院文学研究科附属日本近現代文化研究センター

上海交通大学外国语学院外国文学研究所



ある言語から別の言語へ、ある文化から別の文化へ、あるメディアから別のメディアへ……。これまで当たり前のように思われて見過ごされてきた翻訳のプロセスが、いま見直されつつあります。そして、私たちは一個の純粋な言語文化の中に生きているのではなく、さまざまな言語、文化、メディアが複雑に交差し合う、いわば翻訳のダイナミズムの中に生きていることが指摘されてきました。このシンポジウムでは、そうした知見をさらに発展させながら、言葉、文学、映像を中心に、言語間、文化間、メディア間の翻訳のプロセスや、そこにまつわる美学的・社会的な問題について考えました。

【12月10日(土)】シンポジウム I：翻訳／翻译

〈午前の部〉

張鈴／张铃 ZHANG Ling (名古屋大学博士課程)

「orient、東洋と東方(ドンファン)」

〈orient, 东洋(Toyo)与东方〉

励健／励健 LI Jian (上海交通大学修士課程)

「『道草』における登場人物の金銭感覚について」

〈浅析《道草》中主人公的金钱观念〉

朴景淑／朴景淑 PIAO Jingshu (名古屋大学博士課程)

「日中对訳における「不」の用法」

〈中日“不”的用法—从对译角度分析〉

質疑

〈午後の部〉

康 東元／康 东元 KANG Dongyuan (上海交通大学)

「日本の「推理小説」は中国社会にどう受け入れられているか
——「改革開放」以後の翻訳傾向の一つから」
《日本推理小说在中国的翻译——改革开放后的翻译倾向》

大井田 晴彦 OIDA Haruhiko (名古屋大学)

「伊勢物語における「みやび」——和漢比較の視点から」
《伊勢物語》中的“风流”——从和汉比较的观点出发》

呉 保華／吴 保华 WU Baohua (上海交通大学)

「志賀直哉の作品「城の崎にて」の語句に関する解釈をめぐって——一人の中国人読者の視点から」
《从一名中国读者的视角解读志贺直哉作品〈在城崎〉中的语句》

全体討論 (司会：齋藤 文俊 SAITO Fumitoshi 名古屋大学)

【12月11日(日)】 シンポジウムⅡ：トランスメディア／跨媒体

〈SESSION 1〉

YING Xiong 応 雄／应 雄 (北海道大学)

“Becoming-animal and its Speed: Tian Zhuangzhuang’s The Warrior and the Wolf(2008)”
「動物への生成変化、およびその速度——田壮壮の『狼災記』(2008)について」
《生成变化为动物及其速度——关于田壮壮的〈狼灾记〉(2008)》

MIZUNO Masanori 水野 勝仁 (東京芸術大非常勤講師)

& MIZUKAWA Hirofumi 水川 敬章 (名古屋大学博士研究員)

“Nature and Destruction on the Computer”
「コンピュータにおける自然と破壊」
《电脑上的自然与破坏》

FUJIKI Hideaki 藤木 秀朗 (名古屋大学)

& XU Dongmei 徐 冬梅／徐 冬梅 (名古屋大学博士課程)

“Global Film Stardom and Transmedia: Zhang Ziyi’s Celebrity Culture”
「グローバルな映画スターダムとトランスメディア——チャン・ツイイーの有名性文化」
《全球化电影明星身份与跨媒体——章子怡的名人文化》

コメント：SUN Shaoyi 孫 紹誼／孙绍谊 (上海大学)

討論 (司会：FUJIKI Hideaki 藤木 秀朗 名古屋大学)

〈SESSION 2〉

ZHANG Zhen 張真／张真 (ニューヨーク大学)

“World Expo, Film History and the New (Old) Shanghai Imaginary”

「万博、映画史、新しき(古き)上海の想像」

《世博、电影历史、和新(旧)上海想像》

KINOSHITA Chika 木下千花 (静岡芸術文化大学)

“Before the Revolution: Intermediality, Mass Culture, and Japanese Cinema, 1929-1931”

「[革命前夜]——日本映画の間メディア・ネットワーク、1929-1931」

《革命前夕——日本电影的媒介间性・网络 1929-1931》

CHEN Jie 陳捷／陈捷 (南京芸術学院)

“Blind Chance or Destiny? : The Revival of the Fatalism in Contemporary Films”

「まったくの偶然か、それとも運命か?——現代映画における宿命論の復活」

《盲打誤撞、还是命中注定?——宿命论的复兴与当代电影》

コメント: **Emilie Yueh Yu YEH 葉月瑜／叶月瑜** (香港バプティスト大学)

討論(司会: FUJIKI Hideaki 藤木 秀朗 名古屋大学)